

別表H検算表の使用方法について

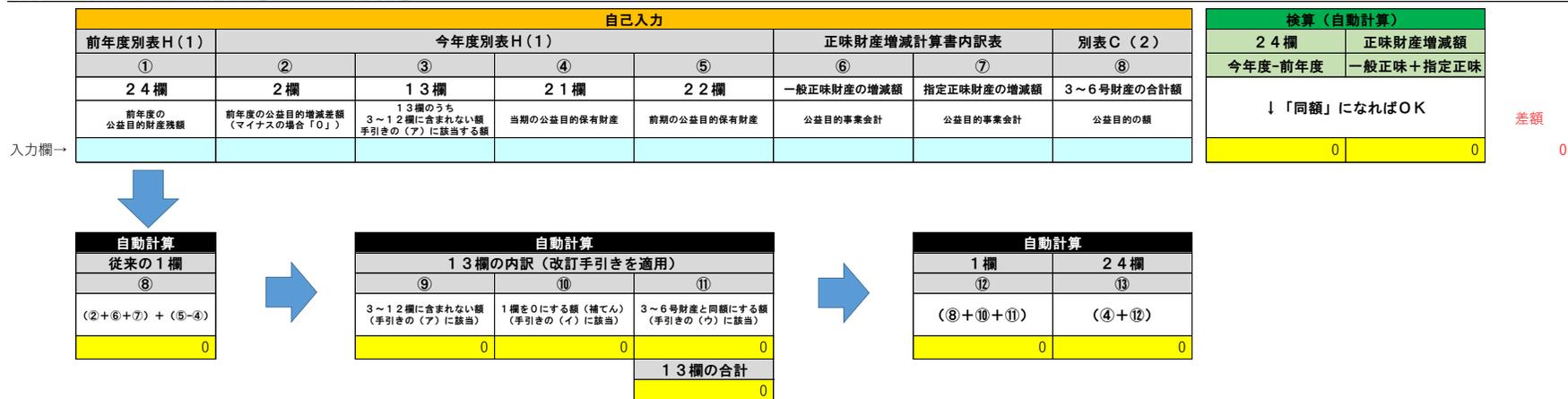
令和4年3月

宮城県総務部 私学・公益法人課

別表Hの検算表とは

- 改訂手引き適用後の別表Hについて，正しい金額が入力・算定されているかを確認するためのエクセル表です。
- 別表H作成の際に，是非，活用してください。

別表H改訂後の検算表【R4.3.10更新】



検算表の入力について

- 検算表は「自己入力」と「自動計算」の欄に分かれています。
- 「自己入力」欄のうち「①～⑧」について、水色セル（）の箇所在所定の金額を入力します。

自己入力			
今年度別表H(1)			正味財産増減
③	④	⑤	⑥
1 3 欄	2 1 欄	2 2 欄	一般正味財産の増減額
1 3 欄のうち 3～1 2 欄に含まれない額 手引きの(ア)に該当する額	当期の公益目的保有財産	前期の公益目的保有財産	公益目的事業会計

当該欄に入力します。

自動計算		
1 3 欄の内訳（改訂手引きを適用）		
⑨	⑩	⑪
3～1 2 欄に含まれない額 （手引きの(ア)に該当）	1 欄を0にする額（補てん） （手引きの(イ)に該当）	3～6号財産と同額にする額 （手引きの(ウ)に該当）
0	0	0

自動計算欄（黄色セル）には入力できません。

検算表の入力について

別表H(1)

前事業年度の末日の公益目的増減差額	2	0 円
当該事業年度に増加した公益目的事業財産		
計損益(計算上の数値)	寄付を受けた財産の額	3 0 円
	寄付を受けた補助金等	4 円
	公益目的事業に係る対価収入	5 150,000 円
	収益事業等から生じた利益のうち公益目的事業財産に繰り入れた額	6 円
	社員が支払った経費の額【公益社団法人のみ記入】	7 0 円
	公益目的保有財産の運用益等(5欄に参入した額を除く)	8 0 円
	公益目的事業に係る引当金の取崩額	9 円
その他の数値	公益目的保有財産に係る調整額(22欄-21欄)(マイナスの場合は零)	10 0 円
	合併により承継した他の公益法人の公益目的取得財産残額	11 円
	認定等の日前に取得した不可欠特定財産の帳簿価額の増加額(3欄~12欄の他、定款等の定めにより公益目的事業財産となった額)	12 円
	当該事業年度に増加した公益目的事業財産の合計額(3欄~13欄の合計)	14 150,000 円

② : 2 欄 (マイナスの場合 0)

当該事業年度の公益目的事業費等		
計損益(計算上の数値)	公益目的事業費の額(財産の評価損等の調整後の額)	15 150,000 円
	15欄の他、公益目的保有財産に生じた費用及び損失の額	16 円
	15欄、16欄の他、公益目的事業の実施に伴って生じた経常外費用の額	17 円
	15欄~17欄の他、他の公益法人の公益目的事業のために寄附した財産の価額	18 円
その他の数値	公益目的保有財産に係る調整額(21欄-22欄)(マイナスの場合は零)	19 1,000,000 円
	当該事業年度の公益目的事業費等の合計額(15欄~19欄の合計)	20 1,150,000 円

③ : 13 欄のうち3から12欄に含まれない額(ない場合は 0)

2. 公益目的保有財産

④ : 21 欄

当該事業年度末日における公益目的保有財産の帳簿価額の合計額(別表G(2)A)	21	3,000,000 円
--	----	-------------

【参考数値】

⑤ : 22 欄

前事業年度末日における公益目的保有財産の帳簿価額の合計額	22	2,000,000 円
うち認定等の日前に取得した不可欠特定財産の帳簿価額の合計額	23	円

3. 公益目的取得財産残額

① : 前事業年度の24欄

当該事業年度末日における公益目的取得財産残額(1欄+21欄)	24	2,000,000 円
--------------------------------	----	-------------

検算表の入力について

正味財産増減計算書内訳表

科目	公益目的事業会計			
	公1	公2	共通	小計
I 一般正味財産増減の部				
(省略)				
当期一般正味財産増減額				△ 1,000,000
(省略)				
当期指定正味財産増減額	0	0		500,000

- ⑥：一般正味財産増減額
- ⑦：指定正味財産増減額

別表C(2)

3. 資産取得資金(公益のみ)(別表C(4)より)

番号	資金の名称	事業番号※	資金の目的	帳簿価額	
				期首	期末
1	車両購入費積立金	公1	公益目的事業に使用するための車両を購入する。	400,000 円	600,000 円
計(C)				400,000 円	600,000 円

4. 特定費用準備資金(公益のみ)(別表C(5)より)

番号	資金の名称	事業番号※	資金の目的	帳簿価額	
				期首	期末
1	普及啓発強化事業積立金	公1	●●の新制度施行を機に、当該制度の周知に向けて、新たな普及啓発の取組を行う。	1,600,000 円	800,000 円
計(D)				1,600,000 円	800,000 円

5. 交付者の定めた用途に従い使用・保有している財産(1~4に記載した財産は含まれません。)

番号	財産の名称	事業番号※	交付者の定めた用途	帳簿価額	
				期首	期末
1	●●施設	公1	●●のために使用している施設	20,000,000 円	20,000,000 円
計(E)				20,000,000 円	20,000,000 円

6. 交付者の定めた用途に充てるために保有している資金(1~4に記載した資金は含まれません。)

番号	資金の名称	事業番号※	交付者の定めた用途	帳簿価額	
				期首	期末
1	●●センター建設資金	公1	将来設置予定の●●センターの建設費	20,000,000 円	20,000,000 円

- ⑧：公益目的の「3～6号財産」の合計額

検算結果の確認について

- 自動計算のうち「24欄」の額を確認し、作成した別表H(1)「24欄」の額と一致しているか確認してください。
- 一致していれば、別表Hの作成完了です。

自動計算		
13欄の内訳（改訂手引きを適用）		
⑨	⑩	⑪
3～12欄に含まれない額 （手引きの（ア）に該当）	1欄を0にする額（補てん） （手引きの（イ）に該当）	3～6号財産と同額にする額 （手引きの（ウ）に該当）
0	4,000,000	5,000,000
13欄の合計		
9,000,000		



自動計算	
1欄	24欄
⑫	⑬
(⑧+⑩+⑪)	(④+⑫)
5,000,000	8,000,000

作成した別表H(1)「24欄」の額と一致しているか確認する。

- 一致していない場合、次ページ以降の手順で確認・修正を行ってください。

検算結果の確認について

- 自動計算のうち「13欄の合計」額を確認し、作成した別表H(1)「13欄」の額と一致しているか確認してください。
- 金額が異なる場合は、自動計算の額に修正してください。
- その後、「24欄」の額が一致しているか確認してください。

自動計算		
13欄の内訳（改訂手引きを適用）		
⑨	⑩	⑪
3～12欄に含まれない額 （手引きの（ア）に該当）	1欄を0にする額（補てん） （手引きの（イ）に該当）	3～6号財産と同額にする額 （手引きの（ウ）に該当）
0	4,000,000	5,000,000
13欄の合計		
9,000,000		



自動計算	
1欄	24欄
⑫	⑬
(⑧+⑩+⑪)	(④+⑫)
5,000,000	8,000,000

金額が異なる場合、当該金額に13欄を修正する。
その後、24欄の額が一致しているか確認する。

検算結果の確認について

- 「13欄」の額を修正しても一致しない場合、別表H(1)「2～12欄」及び「15～19欄」に、正味財産増減計算書等の金額が正しく入力されていないことが考えられます。
- 正味財産増減計算書等の金額と別表H各欄の金額を比較し、入力漏れや入力した金額の誤りがないか確認してください。